

ノリ新品種「ひょうごはりま薫黒」の開発

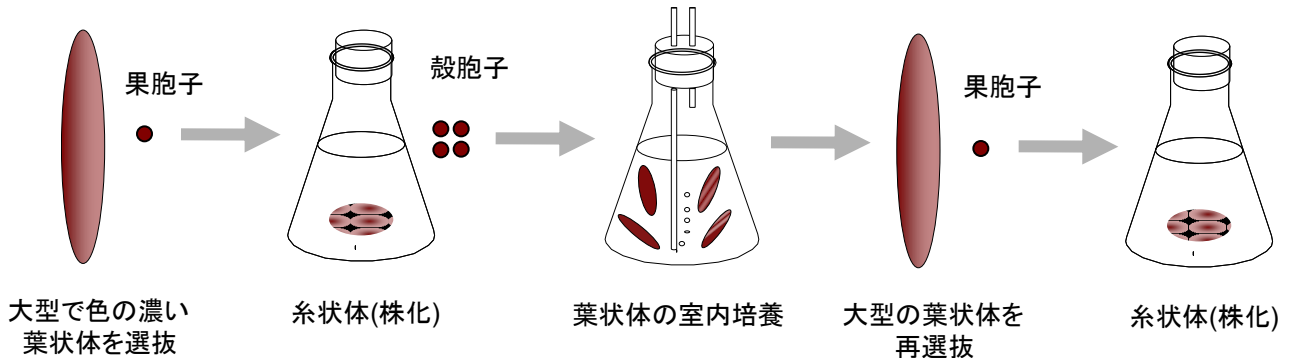
【背景・目的・成果】

兵庫県は全国でも有数のノリの生産地ですが、近年、養殖ノリの色落ち現象に伴う乾海苔の品質低下や生産量の減少が頻発するようになり、ノリ生産者から、漁場環境の改善とともに、養殖ノリの安定生産を目的とした優良品種の開発が強く要望されていました。

そこで、兵庫県漁業協同組合連合会と共同で、選抜育種により優良な特性をもつ品種を選抜し、平成24年4月にノリ新品種「ひょうごはりま薫黒」として品種登録を行いました。

ひょうごはりま薫黒の選抜方法

明石二見地区のノリ漁場で採集された大型のノリ葉状体から、室内培養で選抜を繰り返しました。



同一条件で野外養殖試験



ひょうごはりま薫黒



標準品種(U-51株)



ひょうごはりま薫黒の特徴

特性	生産上の利点
①生長が速い	葉状体の伸びが速く、多収性の傾向を示している。
②成熟が遅い	摘採する期間が長くなり、収量が増える。
③色調が濃い	色の濃い乾海苔が生産できる。
④葉状体が厚い	本県の主力である業務向けの海苔に向く。

【技術の活用】

新品種は上記のとおり優良な特性が確認されました。本品種のみで乾海苔を生産した場合、製品に小穴が空く傾向が認められますので、新品種に従来の品種を混合して生産する方法で普及を進めています。